

第4章

参考書の扱いの冷たい重要事項

次は09年に行われた「オバマ大統領就任演説」の一節です。

To those who cling to power through corruption and deceit and the silencing of dissent, know that you are on the wrong side of history.

さまざまな媒体に訳文が掲載されていましたが、その中にこの部分を次のように訳出しているものがありました。

「腐敗や欺き、さらには異議の沈黙により、権力にしがみつく者たちたちよ。君たちは歴史の誤った側にいる」(???)

この下線部分、ひと目でどういうことかおわかりでしょうか？ ここでは以下のように解釈しなければ、訳文としては失格と言わざるをえません。

the silencing of dissent 「異議を唱える声を黙らせること」

この部分は、この章のNo.34-37で扱う「名詞構文」で、英文読解においては極めて重要な項目なのですが、従来の学校文法では重点的に扱われることが極めて少ないように思われます。

この章では、名詞構文のみならず、学校文法や参考書などでの扱いが冷たく、それでいて重要なさまざまな項目を取り上げます。